

審判講習会報告書

ミニ	連盟	委員長(責任者) 川津 太志						
日 時	2014年11月2日(日)、3日(祝) 9時00分 ~ 16時30分							
場 所	越谷市立総合体育館、行田グリーンアリーナ							
講師名	吉田 憲生氏 伊藤 裕一氏 安西 郷史氏							
講習会名	埼玉県ミニバスケットボール連盟 審判講習会							
対 象 者	日本公認	40人	県公認	30人	未公認	5人	計	75人
開閉講式	開講式	有	無	閉講式	有	無		
報告事項(講義の内容、講習会形式等)								
<p>【11月2日】 行田グリーンアリーナ会場 吉田憲生氏 ○昨年までは講習会形式でレクチャーもしましたが、今回はオンザコートで伝えられればと思う。 ○様々なカテゴリーの中の今日はミニです。私も頑張りたいと思う。</p> <p>越谷市立総合運動公園会場 伊藤裕一氏 ○プレイヤーが主役です。審判は必要な時にだけ出ていき、ゲームをスムーズに運営することに努めましょう。 ○良い位置取りが良い判定に結びつきます。常に求めていってください。 ○手の使い方の整理が全体的に出来ていないように感じたと言部部長より伝言がありました。 ミニだからプレイヤーから言われたい、許されているというものがたくさんありませんでしたか？ ルールは多少違いますが、同じバスケットボールです。別のカテゴリーであれば荒れているかもしれません。 スムーズに初めて終わらせるように努めましょう。</p> <p>【11月3日】 行田グリーンアリーナ会場 安西郷史氏 ○今日いただいた割り当てを全力で遂行したい。そのためいつも通りのアップ、ミーティング、ゲームの入り方をします。 ○私は皆さんよりも才能があったとは思っていません。より経験が多くそれ以上に失敗も多く経験しているから今があります。 ○一つの判定をするために点でプレーを捉えず、線で捉えるようにしましょう。そのためには、なぜその接触が起こったか原因をプレイヤーの心理も含め判断して、その結果被害を受けた(RSBQ)プレイヤーがどうなったのか？どうなるのか？をほんの少し先までイメージできるとより良い判定に結びつくと思います。そのためには常に「次は何？」「次はどこ？」「どこことどこ？」というようなことを考えていけると、接触のそれまでとそれから、よりイメージつきやすいかもしれません。</p>								